

令和２年度防府市産業戦略本部 第２回会合 議事録等

■開催日時・場所

令和３年２月２２日（月）午後６時００分から
防府市役所１号館３階南北会議室

■次第

- １ 開 会
- ２ 議 事
 - （１）第５次防府市総合計画（案）について
 - （２）令和３年度当初予算（案）の概要及び産業戦略本部関係予算（案）の概要について
- ３ その他
- ４ 閉 会

■配布資料

	資料名	番号
１	防府市産業戦略本部 本部委員名簿	—
２	第５次防府市総合計画（案）	【資料１】
３	令和３年度当初予算（案）の概要	【資料２】
４	令和３年度産業戦略本部関係予算（案）の概要	【資料３】

■出席者名簿

敬称略・順不同

種別		所属団体・役職	名前	出欠
本部長		防府市長	池田 豊	出席
本 部 委 員	大企業	マツダ株式会社 防府工場 総務部長	広政 利雄	出席
		株式会社ブリヂストン 防府工場 総務課長	後藤 淳	出席
		協和発酵バイオ株式会社 山口事業所防府 総務課長	大山 弘	欠席
		東海カーボン株式会社 防府工場 研究所長 工場長	片岡 和人	代理
		株式会社丸久 代表取締役 副社長	清水 実	出席
	中小企業	王子ゴム化成株式会社 取締役 管理本部長	末松 元成	出席
		東山口信用金庫 本店 本店長	守田 誠	出席
		有限会社周防タクシー 総務部長	新原 耕由	出席
		アボンコーポレーション株式会社 代表取締役	松村 憲吾	出席
		光浦醸造工業株式会社 代表取締役	光浦 健太郎	出席
		原田株式会社 代表取締役	原田 栄造	欠席
		フラワースペース Co-co 代表	森本 幸代	出席
	関係団体	防府商工会議所 会頭	喜多村 誠	出席
		天神町銀座商店街振興組合 理事長	種田 正幸	出席
事 務 局	本部	総合政策部 部長	小野 浩誠	
		地域交流部 部長	島田 文也	
		産業振興部 部長	熊野 博之	
		土木都市建設部 部長	友景 康浩	
	庶務	総合政策部 部次長	杉江 純一	
		総合政策部 政策推進課 課長	松田 伸一	
		総合政策部 政策推進課 課長補佐	大村 雅俊	
		総合政策部 政策推進課 政策推進係長	古谷 勝也	
		総合政策部 政策推進課 政策推進係 主任	岩田 宏美	
		総合政策部 政策推進課 政策推進係 主任	宗岡 孝俊	

■会議録

1 開 会

市長（本部長）挨拶

2 本部委員紹介

（事務局から出席委員の紹介）

3 第5次防府市総合計画（案）について

（総合政策部長から資料に沿って説明）

4 令和3年度当初予算（案）の概要及び産業戦略本部関係予算（案）の概要について

（本部長から資料に沿って説明）

5 各本部委員による意見

本部長	まずは総合計画（案）への意見を求める。
A委員	「5年後の目指す姿」、「10年後のイメージ」が示されているため大変分かりやすい。市民が明るい未来を感じ、希望をもてる計画（案）となっているのではないかと。 新たな道路網「防府・未来へのネットワーク構想」が示されており、物流や通勤への好影響が期待できる内容で、企業として大変有難い。
B委員	「計画の基本的な考え方」にあるSDGsについて、市民の理解促進を図ってほしい。
本部長	総合計画のダイジェスト版を作成して、市民へ配布する予定である。 SDGsについても、ダイジェスト版に掲載したい。さらに、市広報等を活用した周知も検討する。
C委員	非常に分かりやすい計画（案）だと思う。市職員による子ども達のための出張講座など、多くの市民に見てもらうための機会を設けてはどうか。
D委員	市全体を網羅している計画（案）である。示されている計画のとおり、市が変化する姿を市民に見てもらうことが、防府を盛り上げる第一歩になると思う。
E委員	行政サービスに民間が得意とする手法を積極的に取り入れていくことが重要だと考えている。計画案は「PDCA」、「見える化」、「数値化」等の民間の経営手法を導入したものという印象をもった。ただし、もう少し高い数値目標を設定できる施策もあると感じた。

本部長	続いて、当初予算（案）への意見を求める。
F 委員	「新型コロナウイルスワクチン接種事業」について、接種会場周辺で交通渋滞が発生しないよう計画的な実施をお願いします。
本部長	ワクチン接種事業については、医師会や県と連携しながら、可能な限りトラブルがないよう実施したい。市民には市広報等で、しっかりと情報を提供していく。
G 委員	新型コロナウイルスで打撃を受けている事業者への経済対策について聞きたい。
本部長	国・県・市の役割分担の中で、必要な地域経済対策を実施したいと考えている。昨年 4 月に防府商工会議所とともに開設した総合相談窓口は継続する。 現在、2 回目となるプレミアム付商品券発行事業を補正予算で行っているところ。来年度は様々なイベントを実施したい。また、緊急的な対応ができるよう予備費を 1 億円計上している。状況を注視しながら、対応していきたい。
H 委員	「おいしい防府水産物ブランド化事業」について、ハモのブランド化に長年取り組んでおられるが、認知度はあまり上がっていないと感じる。打開策が必要ではないか。また、ハモ以外の商材についても検討すべきではないか。
本部長	この取組は水産業の振興として実施してきた。子ども達への認知が進んでいないと感じているため、まずは学校給食で提供し、認知度を高めていきたい。特産品となる商材があれば、是非、皆様から紹介をいただきたい。
A 委員	防府の南北をつなぐ「(仮称) 防府北基地東道路」の整備着手には大きな期待を持っている。
本部長	「(仮称) 防府北基地東道路」の整備は、構想がある中、財源等の制約で進んでいなかったが、様々な予算の活用を検討したところ、目途が立ち、総合計画（案）に掲載できた。国に説明するときに民間からの要望であったことが、後押ししてくれた。
I 委員	「UJI ターン促進事業」について、コロナ禍による地方への関心の高まりや移住支援金制度を積極的に活用し、若い世代の人口増につなげてほしい。
本部長	東京にある「ふるさと回帰支援センター」等と密に連携しながら、UJI ターンの促進に取り組んでいく。また、若い世代の方のため、子育て支援にも力を入れていく。
B 委員	マンホールやマンホールカードに注目される方をよく見かける。観光振興の一つとして、30 年間変わっていないマンホールデザインの更新を提案したい。

本部長	マンホールデザインの更新については、ちょうど検討しているところ。マンホールに限らず、様々な媒体で防府市をPRしていきたい。
J 委員	「デジタル化推進事業」について、自社従業員のマイナンバーカード取得促進に積極的に取り組みたいと考えている。市には取得メリットを分かりやすく市民に周知してほしい。
本部長	マイナンバーカード取得促進はデジタル化における基礎的自治体の一番の役割だと思っている。昨年12月に「マイナンバーカード交付室」を新たに組織し、令和3年度中の取得率100%を目指し、がんばっているところ。取得メリットについては、市広報に掲載させていただいたが、これからも、積極的に周知していきたい。
K 委員	デジタル化の推進には人材の確保が重要。小規模事業者は、専門人材不足で新しいことを始めることが出来ないと聞く。
K 委員	積極的な予算（案）で、中心市街地活性化や道路整備など、企業や関係団体からの要望に沿う形となっており感謝している。 現在、旧商工会館が解体中であり、跡地を含めたJR防府駅北公有地への民間活力の導入が期待される場所である。市が具体的な案を示してくれると、民間の動きも加速するのではと期待している。スピード感をもって取り組んでほしい。
本部長	JR防府駅北公有地については、委員会で議論を行い、スピード感をもって構想を示したい。この機会を逃さず、しっかりと取り組んでいく。
本部長	新型コロナウイルスの影響について現在の状況等を教えてほしい。
H 委員	小売業では、実店舗販売は低調だが、ECサイト販売の売上は伸びている。大都市にスポット出店しているが、2月13日の地震の影響もあり街に人がいない。実店舗販売に今のところプラスとなる要素はない。
E 委員	アフターコロナにおける経営戦略として、「DX推進」、「脱炭素」、「環境対策」を掲げる企業が多い。総合計画（案）と当初予算（案）のなかに「デジタル化の推進」がしっかりと掲げられており安心した。
L 委員	幸い、社内でコロナに感染した者はいないが、濃厚接触があり、その対応に大変苦慮した。経済活動と感染防止対策の両立は非常に難しい。早く、感染症が収束し、防府が元気になってほしい。

本部長	防府市内のこれまでの累計感染者数は 51 人。市民や企業の皆様の努力で、他市と比較して感染が広がっていない。ワクチン接種が始まるが、引き続き緊張感をもって対応していきたい。
K 委員	コロナ禍の防府市経済については、市の施策の効果もあり、業種間の差はあるものの全体としては比較的影響は小さい。また、建設業等の好調な業種もある。 コロナ後には、経済に大きな動きや変化が出てくるかもしれない。賃金や物価、金利の動きを注視している。出遅れて都市間競争に負けることのないよう柔軟に対応できるように考えておいてほしい。
I 委員	コロナで日常生活が抑制されている反動で、イベント等での消費意欲が強くなっていると感じる。また、コロナ前に人が少なかった地域へ人が移動する動きがあると感じている。その意味では、「ちょうどよい街」である防府市に様々なチャンスがあると思う。 先日、行った野島には、自然と触れ合える観光地としての魅力がある。また、山口の中山間地域にはサバイバルゲームを目的に愛好者が集まる施設があると聞く。このような「ちょうどよい」所を、観光や移住につなげてほしい。
本部長	今回示した総合計画（案）と当初予算（案）は、市民全員で作成したものだと考えている。行政がしっかりと推進し、民間と一緒に取組むことで、前に進めていきたいと考えている。皆様のバックアップが必要なので、今後ともよろしくお願いする。
事務局	現委員の任期は令和 3 年 3 月末日まで。第 1 期委員での会合は本日が最後である。令和 3 年度からは新たな委員構成となるが、現委員には継続就任の意向調査を後日行いたい。

閉会